

# 学校給食だより 秋田っ子給食 NO-47

公益財団法人 秋田県学校給食会

## 「おいしい」「食べ応えある」

### 矢島小 給食でパニーノ味わう



秋田由利牛を使ったイタリア風サンドイッチ「和牛カツレツのパニーノ」が25日、由利本荘市の矢島小学校（三浦章久校長、140人）で振る舞われ、子どもたちが新たなアレンジを加えた地元食材を堪能した。

パニーノが給食に登場するのは初めて。地元食材の素晴らしさを児童に伝えたいと市が企画した。

児童は由利牛のもも肉を揚げたカツと野菜をコッペパンに挟んで、かぶりついた。カツはパンからはみ出るほどのボリュームで、子どもたちは「おいしい」と大喜びしていた。

5年生の土田遙心君（11）と小野健太君（11）は「パンとカツと野菜の味がマッチしていた。すごく食べ応えがあった」「由利牛は洋風に調理してもおいしいんだと分かった」と話した。

市によると、2月中に市内の全23小中学校で給食にパニーノが提供された。（遠藤卓之）  
（令和4年2月28日（月）秋田魁新聞記事より抜粋）

## 「卒業後もコメ食べて」湯沢市、中3生に贈呈へ

湯沢市はきょう25日から、市内6中学校の3年生285人に県の新ブランド米「サキホコレ」と、あきたこまちのパックご飯を贈る。市は、「コメのおいしさに改めて触れ、卒業後も食べ続けてほしい」としている。

贈られるのは各150グラム入りで、サキホコレが1パック、あきたこまちが2パック。各校を通じ、来月10日までに生徒に届ける。市は贈呈式なども検討していたが、コロナ禍を受けて見送った。食味の良さを知ってもらい、需要拡大につなげようと初めて企画。市は「地域への愛着を持つきっかけにもなればうれしい」としている。

（小林智彦）  
（令和4年2月25日（金）秋田魁新聞記事より抜粋）